

ロボカップ 国内V8

NEWS CIT

2017
6.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 石原准教授に論文奨励賞/吉村教授に警察庁警備局が感謝状/竹内さんベストポスター賞/就活・採用選考スタート
- 3面 高校教員への入試説明会/同窓会70周年・総会開く/赤澤研が医療団体ロゴ制作/本学赤れんが門を朝日連載で紹介
- 4面 第22回文化の祭典開く/クラブの活動状況



未ロボチーム

来月、名古屋で世界戦

未来ロボティクス学科のチーム「CIT Brains」の写真が5月5、6日、金沢工業大(石川県野々市市)で開催された「ロボカップジャパンオープン2017」のサッカーヒューマンノイドリーグ・キッドサイズ部門で3年連続、通算8度目の優勝を成し遂げた。テクニカルチャレンジでも1位になり、千葉大生のロボット作りの「実力」を大きくアピールした。7月下旬に行われる世界大会で2014、15年に次いで3度目の世界制覇に挑む。

「2016年までにサッカーW杯のチャンピオンに勝つ自律型のヒューマンノイドロボットを作る」というロボカップの目標に迫るために、ヒューマンノイドリーグのルールは毎年改正され、難易度が急速に上がっている。このためロボットの開発が追い付かずに出場を断念するチームが少なくない。

今大会でキッドサイズ部門に出場したのは、CIT Brainsの他に

■ロボカップジャパンオープン2017参加メンバー(敬称略)

関通太▽加瀬林千里
▽林慎矢(以上未ロボ4年)
▽島田悟志▽中島崇晴(同3年)
▽宮澤貴広▽小林翼▽高橋直樹▽田村正和▽島山佑太(同2年)



試合前にロボットを調整するCIT Brainsチーム

方式で行われた。CIT Brainsは予選でまず「Waki-Meisei」を2対0で破った後、WinkItと0対0で引き分けて決勝トーナメントに進み、準決勝はWinkItに4対0で圧勝。決勝では再び対戦したWinkItに2対0で勝って優勝の栄冠を手にした。

テクニカルチャレンジは①ハイキック②フッシユ・リカバリー③ゴールキック・ウイズ・ムービングボールの3種目で行われ、CIT BrainsはWinkItが出場。3種目ともCIT Brainsが圧勝した。

今回の一連のゲームを通して顕著だったのは、CIT Brainsのロボットの得点能力の群を抜いた高

深層学習、ボールを独占

は金沢工大「WinkIt」、東京工業大「Rv-infinity」、いわき明星大「Waki-Meisei」と学生サークルの「Robots」の4チームだけ。より機体が大いティーンとアダルトサイズは出場チームがなく、ゲームが行われなかった。キッドサイズのゲームは出場5チームが抽選で対戦相手を決めて2試合ずつを行う予選の後、上位4チームがトーナメントで準決勝、決勝を戦う。



独ルール大ボーフムと

本学が交流協定を締結

小宮一仁学長は4月24日、ドイツ西部ノルトライン・ヴェストファーレン州ボーフム市のルール大学ボーフムを訪問し、交流協定を締結した。ボーフムはドイツの重工業を牽引したルール工業地帯の都市。戦後、炭鉱閉鎖後は学術振興に傾注。ドルトムント、エッセン、ヘルネに隣接している。ルール大ボーフムは州

立で、理工・医学系や人文系の20学部約80学科があり、学生数約3万3千人超。日本史・日本語の学科もある。

本学が交流協定を結んだ海外大学はこれまで17カ国・地域、34大学となった。

(写真は左からメッシュケ都市環境工学部教授、小宮一仁学長、マーク都市環境工学部学部長、オステンドルフ副総長)

オープンキャンパス2017

8/6 8/7 8/8

OPEN CAMPUS

千葉工業大学

完全制覇目標に

2006年のチーム結成以来、林原靖男教授、南方英明教授指導の下、着実に技を磨いてきたCIT Brainsだが、今年度は学生たちの士気も一層高まり、完全制覇を目標に掲げている。

7月25、31日、名古屋で開催される世界大会で

「ロボカップ2017」に向けてチームは現在、さらに強力な得点能力を持つ新たなロボットの開発にも挑んでいる。

チームリーダー・関通太さんの話 名古屋の世界大会ではフリーキックの導入など、FIFA(国際サッカー連盟)のルールに準じた新しいルールが導入され、より技術的に高度なゲームが戦われるでしょう。今回のジャパンオープンでの経験を生かして世界大会でも優勝し、僕のリーダーとしての有終の美を飾りたいと思っています。

石原准教授に論文奨励賞

▼ウレタン塗膜防水研究で建築工学会

建築学科の石原沙織准教授(写真)が、ウレタン塗膜防水の施工性と品質に関する研究で、日本建築工学会・2017年学会賞の論文奨励賞に決まり、5月23日、東京都港区芝の建築会館ホールで表彰された。

ウレタン塗膜防水は、塗膜の厚さが適切でないから明らかなし、不具合の少ない施工につながる指標を提示した。



招く恐れがある。石原研では多くの施工実験を通じて、適切な塗膜厚さを確保できる施工条件を、施工のしやすさも加味しながら明らかにし、不具合の少ない施工につながる指標を提示した。

これまで、防水分野で施工性を加味した品質に関する研究はほとんど行われてこなかった。

石原准教授は「着任以来5年間取り組んできた研究を評価していただき、うれしく思います。

竹内さんベストポスター賞

▼谷戸田を囲む森林の水源涵養システム研究

日本沙漢学会の第28回学術大会(5月27、28日、本学で開催)で、竹内舞子さん(生命環境科学専攻修士2年、矢沢勇樹研究室(写真左下))が「耕作放棄された谷戸田を囲む森林の機能性と今後の課題」平成29年度笹川科学研究助成事業に採択された研究IIをポスター発表し、ベストポスター賞に選ばれた。

世界の陸地の4割は年間降水量より蒸発量が高くなる上に乾燥地。沙漢学会では乾燥地で生活している人たちの文化や灌漑システム、土壌改良や植林などを幅広く研究・情報交換している。

竹内さんは、乾燥地ではないものの湿潤な房総半島南部・いすみ市の耕作放棄された谷戸田に注目、谷戸田を囲む森林による水源涵養システムについて報告した。

ん、恩師に感謝を申し上げますとともに、気持ち新たに今後も精進したいと思います」とコメントを寄せた。

日本建築工学会は建築士に伴う設計・材料・構法・施工技術の進歩を目指す学会。石原准教授は、建物を長持ちさせるための仕上げ材料や、屋上・壁、人工地盤などを植物で覆う都市緑化を研究。漆喰や畳などの伝統建材の再評価にも目を向けている。

吉村教授に警備局感謝状

▼熊本地震の警察救助活動を調査分析

昨年4月の熊本地震で警察が行った救助活動プロセスを詳細に調査し、今後の危機管理体制向上に役立てる分析に貢献したとして、都市環境工学科の吉村晶子教授に6月6日、警察庁から警備局長感謝状が贈られた。

熊本地震は揺れによる家屋倒壊では阪神淡路大震災以来最大の被害が出た。前震・本震型の地震だったことで、警察は前震後たちちに部隊を大規模に派遣。隊員約千人が既に熊本入りした状態で本震発生を迎え、直後から活動を開始し160人を救助した。

地震で倒壊した木造家



感謝状を手に吉村教授(右)と児嶋洋平警察庁災害対策室長

た。警察庁は今後の救助体制に向けて検討するため、これまで救助訓練施設的设计に協力してきた。警察庁は今後の救助体制に向けて検討するため、これまで救助訓練施設的设计に協力してきた。

吉村教授は今後の救助体制に向けて検討するため、これまで救助訓練施設的设计に協力してきた。



内定率最高 目指し

● 就活 採用選考スタート



企業の担当者の説明に、真剣にメモをとる学生たち

「教職協働」による本学独自の学生支援態勢もこの好調を後押ししている。就職課のスタッフが各学科の教員とミーティングを重ねながら、それぞれの学科に最適な学生支援プログラムを展開している。

このような動きの背景には「フェイス・トゥー・フェイスを大切に」という大学トップから発せられた理念がある。教職員と学生、大学と企業の担当者の直接の意思疎通が相互の信頼関係を醸成し、高い内定率をもたらしている。

2018年春の卒業予定者を対象にした企業の採用選考が6月1日に解禁となり、本学のキャンパスにも「内定獲得！」の声飛び交っている。本学の今年3月学部卒業者の内定率は94・1%と、現在の形で記録を取り始めてから最高となったが、就職課はさらなる記録更新を目指して学生支援に全力を挙げている。

ブランド力と教職協働味方

就職委員会のまとめによると、ここ3年間の学部卒業者の内定率は2015年87・4%、16年90・6%、17年94・1%と年ごとに記録更新している。

一方、文部科学省と厚生労働省の4月1日時点の調査によると、全国の大学の就職率は97・6%と過去最高。この就職率は「就職希望者のうち実際に仕事に就いた人の割合」であり、これを本学に当

てはめると98・2%で全国の数字を上回る。ちなみに本学の内定率は「在籍者数から大学院進学と卒業(修了)不可人数を差し引くこと」で表れた。

迷ったら就職課へ



O.B.O.G.懇談会に詰めかけた学生たち

迷ったら就職課へ
福江聡就職・進路支援部長の話「いくら学生の売り手市場だと言っても油断は絶対に禁物。しっかりと準備を重ねて自分の就活スキルのレベルを上げておいてください。困ったことや迷いがあたら、就職課に相談に来てください」

同窓会70周年 総会開く

▼ 活力は上昇、11月に記念事業



同窓会の通常総会

昭和29年9月に第1回の卒業生を送り出してから今年で70周年になる同窓会の平成29年度通常総会が5月27日、昨年に続き

昭和29年9月に第1回の卒業生を送り出してから今年で70周年になる同窓会の平成29年度通常総会が5月27日、昨年に続き



懇親会で鏡開き

39年工経卒の講演。同氏は、ハイゲンダッツやカルピスの原料に使用される浜中町産ア

総会終了後、食堂棟2階で開かれた懇親会では瀬戸熊理事長が「本学はここ数年の改革で経営

閉会の前には応援団のエルで全員で校歌を斉唱。同窓生たちはグラス片手に学生時代の思い出話を花を咲かせていた。



参加215校に改革成果を説明

▼ 高校教員への30年度入試説明会

高校教員を対象にした本学の平成30年度入試説明会が5月26日東京スカイツリータウンキャンパス、30日津田沼キャンパスで開かれた。写真。旧工学部改編による5学部17学科体制の構築から2年目のこの春の入試が昨年度と同様全国9位の志願者を集めたことを受けて、2日間の参加高校は昨年度を2校上回る215校と過去最高を更新した。

東や申信越へと広がり、香川県からの参加校も。本学の人気が全国的に広がっていることを裏付けていた。

わけても小宮学長が強調したのが、就任以来最も力を入れてきた教育改革とその成果。かつて全国の大学の平均の2倍に達していた学生の退学率を、教員の「やる気」を引き出すさまざまな施策や、学生の授業評価などの数字の「見える化」、

続いて大川茂樹・入学試験委員長(副学長・末来ロポティクス学科学科教授)が30年度のAO・推薦、センター利用、一般

入試のポイントと主な変更点などを詳細に説明。それによるとA日程・B日程入試のサテライト試験会場に、30年度は新たに大阪が追加される。

説明会の前後に設けられた個別相談会でも、多くの高校教員が入試委員から熱心に説明を受けていた。

医療団体ロゴを制作

▼ 赤澤研の6人委託受けて

デザイン科学科・赤澤智津子教授の研究室が「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」(玉元弘次代表)の委託を受けて制作したロゴ・マーク

左下は、5月からネットワーク構成団体メンバーの名刺やピンバッジ、のぼりなどに使われている。

同研究室の石井智恵さん(現修士1年)をリーダーとする昨年度の4年生6人が制作した。

・介護関係団体と船橋市の25団体で構成。急速に進む高齢化社会への対応

活動を行っている。ひまわりは船橋市の花で、一つに見える大きな花が実は多くの小さな花の集まりであることから、市民を中心に連携する医療・介護関係者の姿と重なるとして、ネットワークの名称に採用された。ロゴ・マークはそんな関係者同士の「つながりを感じる親しみやすさ」を表現している。



船橋在宅医療 ひまわりネットワーク



ロゴマーク発表会で赤澤研メンバーと、ひまわりネットワークの2人=玉元代表(中央右)と松岡かおりさん(左端)

50の地域支部と9つの職域支部合わせて59支部に会員が8万4200人、その6割、5万人が平成に入ってからの卒業生です。今年、設立75周年を迎えた母校は今、本当に活力があるが、母校の活力は同窓会の活力につながる。《世界文化に技術で貢献する》という建学の精神を掲げ、《世界のCIT》を目指して我々

も頑張りたい」と、全国から集まった出席者に呼びかけた。

総会はこの後、28年度事業・収支決算報告、29年度事業計画・収支予算を全会一致で承認。

役員交代では福島、富山、静岡中部、愛媛、福岡、長崎の各地域支部と日野グループ、ISUZUの2職域支部の支部長交代を承認。退任した旧支部長には坂本会長から感謝状と記念品が贈られた。

津田沼キャンパスの赤れんが門が5月22日付朝日新聞夕刊の連載「各駅停話」に、「学生と生きる赤れんが」として取り上げられた

生と生きる赤れんが」として取り上げられた。様々な人々が交錯する駅にまつわる物語を、路線ごとに紹介するこのコラム。5月15日に千葉から始まったJR総武線の7番目、津田沼の「主役」として、「72年前は、陸軍鉄道第2連隊の表門だった」と、まず故事来歴を語る。そして

15日に千葉から始まったJR総武線の7番目、津田沼の「主役」として、「72年前は、陸軍鉄道第2連隊の表門だった」と、まず故事来歴を語る。そして本学開学後は地元の人たちに「工大のれんが門」と呼ばれるようになり、1998年には国の登録有形文化財に指定されたことが紹介されている。さて、学生諸君はご存じでしたか?

多彩サークル見聞録

来場市民2800人とともに

第22回文化の祭典開く

第22回文化の祭典(実行委員長・牧野祐亮さん)が5月29日(日)、津田沼キャンパスでにぎやかに開催された。

今年度のキャッチコピーは「文化見聞録」。「外部から足を運ぶ方々に、本学文化会サークルの活動を知らせてもらい、ますます興味を持っていただきたい」と願った。

工学、文芸、音楽、アニメなど各分野のサークルが、練り上げた企画を6号館を中心に展示した。

特設ステージでは、アカペラ、ダンス、神田外語大ベリーダンスのサークルなどが練習の成果を披露。訪れた市民約2800人とともに祭典を楽しんだ。

人気を集めたのは、親子で楽しめる「体験」型イベントや、恒例マンガ研究会の似顔絵サービス、鉄道倶楽部のミニ電車乗車体験、陶芸研究会の体験などで、来場者の行列ができた。

一方、声優の新井里美さんを招いて文化講演会を開催。新井さんはアニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」のベアトリ役や「とある科学の超電磁砲」の白井黒子役を務めている。新井さんは、声優になったきっかけから、やりがいを感じる瞬間、声優以外でやってみたい仕事などについてトークショーを展開した。講演会の司会進行は学生たちが務めた。

祭典で一番輝いたサークルを、来場者が投票で決める「サークル総選挙」が決まった。



一番輝いた！陶芸研究会がろくろで制作表演



鉄道倶楽部のNゲージ模型展



牧野実行委員長が開会のあいさつ



学友会による焼き鳥屋台



吹奏楽部の演奏



子どもたちを集めてミニ電車



やまのこソールン風神の演舞

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名
囲碁部	5/3	平成29年度春季関東学生囲碁団体戦
天文研究部	5/2、3、8、15、22、29	観測会
ソフトメディア研究会	5/18	星空教室
環境科学研究会	5/13	他大学合同討論研究会
フィッシャークラブ	5/28	ASSEMBLE
TRPG研究会	5/13	水環境調査
総合工学研究会	5/13	交流会
陶芸研究会	5/20	へっほころ!
茶道部	5/20	第15回ROBO-ONE Conference
将棋倶楽部	5/21	関東学生陶芸連盟 新入生歓迎会
	5/7~21	春茶会
		春期団体戦

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的ないろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。

増えました。来年は告知を早めることで、さらに発展が見込めそうです」と語った。

編集だより

ペランダに住むカメ、ウシガエル、ヤモリに始まり、子供部屋にはウォータードラゴン、フタゴヒゲトカゲ、ハリネズミ……と、我が家には居候がたくさんいる。もう、ペットはお腹いっぱい！にも関わらず、娘の一押しに根負けして、旦那が生後3ヶ月の



トイプードルを家族の一員として迎え入れてしまった。

長年、実家で大型の秋田犬を飼っていた大好きな私だが、室内でワンちゃんを飼うなんて！そんな夢のまた夢、今後の人生でも想像すら出来ず当初は戸惑ったばかり。まだ小さいこともあり、ドッグフードをふやかしたり、パピーサプリやブドウ糖を投入したり……。実家で、夕飯の残り物を鍋からどっさり与

えていた大型犬とは勝手が違うではないか!? 仕事でもプライベートでも忙しく、常にバタバタしている私だが、ペットのお世話まで大変よ！と、職場の同僚や知人の心配はよそに、そのバタバタごと楽しんでる毎日。トイプードルの「チョコちゃん」は、愛くるしい眼差しで毎日私を迎えてくれる。憂鬱な梅雨も今年は楽しく過ごせそうだ。

入試広報課 大橋 慶子

四季雑感

全力で走りだした新年度から、それぞれの立場で皆頑張っていることと思います。

二年前、亡くなった主人が娘に残したメッセージの中の一文に、「休憩を取ることも次に頑張るために必要な事だからと下さい。頭と体をすっ



少し疲れたと感じている時、ちょっとやる気が出なくなってきた時、そんな時は走り続けずに一旦少し「休憩」をしてみて下さい。

新習志野学生課 大竹 智美

きりさせましょう。そして、元気に大学に来て大いに学んで欲しいと願っています。

学生センターでは一年を通して学生支援プログラムを開催しています。日本文化体験やテーブルマナー等沢山のイベントが用意されており、この機会に是非参加してみてください。

室川 和也

PPA

大学に試験さえなければ、「最高！」なんて思ったことありませんか？私ほそんな風にいつも思っていた学生でした。

試験等で、しっかり準備や練習をしたのに良い結果が出なかった事は無いでしょうか？ また何気なく臨んだ結果が良かったこと

とも。私はそんな経験はたくさんし、その結果を安易に受け止めてしました。

しかし社会に出ると流石にそう簡単でなくなり、あるとき米国元財務長官ロバート・ルービン氏の言葉に辿り着きました。

「ときとして間違えた判断が成功に結び付くことがある、きわめて正しい判断が失敗に終わることもある。しかし、長い目で見れば、より深く

考え抜いたうえでの意思決定は、全体としては望ましい結果につながり、結果そのものよりも、いかに検討を加えて意思決定が行われたかが評価されることになる」

すばらしい仲間との出会い、色々な活動を通じての貴重な経験をさせて頂いた、PPA会長の退任に際してこの名言を学生諸君に送りたいと思います。

PPA会長 室川 和也